

## ヘルスアップ教室 後期教室参加者募集

市では、健康づくりのお手伝いの一つとして、温水プールを利用した水中運動教室を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

会場 ゆとりびあ真野(温水プール、トレーニングルーム)

申込み方法

参加申込書を市役所環境保健課健康増進係またはゆとりびあ真野へ提出してください。初めて参加する人で、医療機関受診中の方は医師の意見書が必要です。申込書および意見書は市役所各支所またはゆとりびあ真野窓口にあります。

参加費用 1回当たりプール利用料金として500円

申込期限 12月28日(水)

初心者向け教室

開催日 1月12日・19日・26日

(木曜日) 2月 2日・9日・16日・23日

3月 2日・9日・16日・23日

受付時間 9:30~10:00(1/12、3/23は8:30~9:00)

実施時間 10:00~11:00(1/12、3/23は9:00~11:30)

募集人数 25人

経験者向け教室・月曜日コース

開催日 1月16日・23日・30日

(月曜日) 2月 6日・13日・20日・27日

3月 6日・13日・20日・27日

受付時間 9:30~10:00(1/16、3/27は8:30~9:00)

実施時間 10:00~11:00(1/16、3/27は9:00~11:30)

募集人数 30人

経験者向け教室・金曜日コース

開催日 1月13日・20日・27日

(金曜日) 2月 3日・10日・17日・24日

3月 3日・10日・17日・24日

受付時間 9:30~10:00(1/13、3/24は8:30~9:00)

実施時間 10:00~11:00(1/13、3/24は9:00~11:30)

募集人数 30人

問い合わせ・申し込み先

市役所 環境保健課 健康増進係 ☎63-3113

佐渡市健康保養センター ゆとりびあ真野 ☎55-4500

## NPO法人 エコひびき佐渡からのお知らせ

不登校、ひきこもり者の学校復帰、社会参加支援を目的に独立行政法人福祉医療機構から助成を受け、次の活動を行っています。自分のペースで参加できますのでご利用ください。

毎週火~金曜日13:30~16:00

学力補充・体力づくり・軽作業指導・パソコン指導・すこやか両津ボランティア活動・音楽を聴いたり、おやつを食べたりしてのんびり過ごす

月1~2回 親の会(ひびきの会)

作業体験・社会見学・料理・ボーリング大会等

会場・問い合わせ先

工房「ひらり」(こども達の居場所)

金井新保乙1110 ☎63 2530 近藤

## 佐渡スポーツハウス

初心者・初級者「新春テニス教室」

日時 1月5日、12日、19日、26日、2月2日、9日

(全6回)/毎週木曜日19:30~21:00

定員 先着30名(初心者・初級者)

受講料 5,000円

申込み 12月15日(木)~

2005年、新春「科学的健康シェイプアップ教室」

期間 1月12日(木)~3月30日(木)(約3か月)

教室日 毎週木曜日(入会時に予定表配布)

昼の部 14:30~16:00

夜の部 18:30~20:00

授業開始は、1月12日(木)体力測定を予定しています。

定員 高校生以上の男女、先着各(昼・夜)教室とも10名

受講料 5,000円

申込み 12月15日(木)~1月29日(日)

申込受付時間 日曜・祝日:9:00~17:00

月~土曜日:9:00~20:00

各教室とも専用「申込み用紙」で、佐渡スポーツハウス事務室受付で手続きください(定員になり次第締め切ります)。電話やFAXでの申込みは受け付けていません。

問い合わせ先 新潟県佐渡スポーツハウス

☎55-256(代)

なお、冬期「佐渡ジュニア強化育成野球教室」、第3期「水泳教室」も現在入会者継続募集中です。

## 1月は「食を考える月間」です!

みなさん、「食」について考えたことがありますか?

農林水産省では、平成15年から毎年1月を「食を考える月間」とし、「食」に関する様々な情報の受発信やシンポジウムを開催するなど、皆さんに広く「食」について考えていただくための取組を進めています。

平成18年1月についても、北陸農政局管内では

食に関するシンポジウム、意見交換会の開催

「消費者の部屋」等での特別展示

マスメディア等を通じた食育の啓発・普及

広報誌やメールマガジン等による情報提供

等を予定しています。これらの取組予定については、北陸農政局のホームページを是非ご覧ください。

http://www.hokuriku.maff.go.jp/



## 佐渡金銀山 未来に残そう世界遺産

### 金銀山よもやまばなし(15)

#### 旧分析所

旧分析所は、相川の中心街から大佐渡スカイラインを妙見山に向かって登り、間ノ山地区の鉱倉所、旧中尾変電所、高任破砕場など一連施設群の中、一番奥にあります。鉄骨造平屋建て(一部二階建て)切妻造平入波形スレート板葺建物です。この建物は金の大幅増産を目指すべく、採掘された鉱石の精錬方法を分析するために建てられたものです。昭和27年(1952)の佐渡鉱山大縮小以後、四国の直島で精錬されるようになり、その後まもなく、本来の用途が終わったものと推測されます。建物は平成元年(1989)の閉山まで使用され、現在も物置として使用されています。この建物の沿革や建築年代を詳細に記す文献資料は、現在の所、見いだすことができませんが、関連諸施設の沿革、古写真、建築調査等によって、およその建築年代を推定できます。この建物の外壁仕上げ材であるスレート板は、間ノ山地区に立地する旧中尾変電所(大正4年・1915年竣成)、高任

選鉱場(昭和12年・1937年建築)と同等品です。波形のスレート板を使用していること、軸部を鉄骨造とすることを考慮すれば高任選鉱場に建築年代は近く、昭和戦前期の建築と考えられます。古い高任選鉱場は現状よりも西側に位置し、昭和12年に現在地に移築されたこととされていますが、この建物はその旧敷地に当たることから、これ以後に建てられたことが明らかです。なお、昭和20年代撮影とされる写真にはこの建物が写されていましたが、高任選鉱場、鉱倉所もすでに建築されていました。

佐渡鉱山では明治以来、新坑道の開削、鉱石運搬の効率化等による大量採掘、大量処理を行ってきました。また一方で、昭和13年(1938)、海岸の浜石を北沢製錬場に運んで製錬したり、含有量の低い鉱石から生産量を増やすために、より精度の高い精錬法を模索してきました。これらが相まって、近代佐渡鉱山の金生産量を維持してきたものと考えられます。この建物は、この精錬方法の研究となる「分析」を行う施設として建築されたもので、いずれ枯渇



する金の生産維持を支えた施設であるといっても過言ではないでしょう。また、近代を象徴する建築材料である鋼材を使用したこの建物は、高任地区の急速な発展を示す建物であると考えられます。

間ノ山地区一連の建造物では、県道に面していないことや、県道側の大き

な鉱倉所に視界をさえぎられ、最もなじみの薄いものです。しかしながら、破砕場、鉱倉所、中尾変電所、川にかかるアーチ橋(石橋)、道路を挟んだ搗鉱場等の建造物、構造物群は、近代の佐渡鉱山繁栄を物語る遺産として、訪れる人に感動を与えています。それぞれの建物が、初期の用途と違う使われ方をしていたり、全く使用されていないから当たり前のように目にすることができません。しかし、これら一連の建物が取り壊された間ノ山を想像するとき、現在生産性の無い施設の意義と存在感を感じます。これらの遺産をいつまでも後世に残し、佐渡鉱山の歴史を伝えたいものです。

佐渡金銀山室 ☎74-3115

#### おわびと訂正

市報さど11月号に掲載しました、第2回佐渡市美術展覧会記事について誤りがありました。

受賞者一覧の第3部門(彫塑・工芸)では、教育長賞は、荒井忠夫さん1名です。金子かよ子さん、富樫俊子さん、松木サチ子、藍原幸子さん、後藤幸恵さん、加藤真一さんの6名は、奨励賞を受賞されました。おわびして訂正します。

市報佐渡お知らせ版11月号6ページの金井地区行政相談の日程で「10日(金)」とあるのは「12日(月)」の誤りでした。おわびして訂正します。

